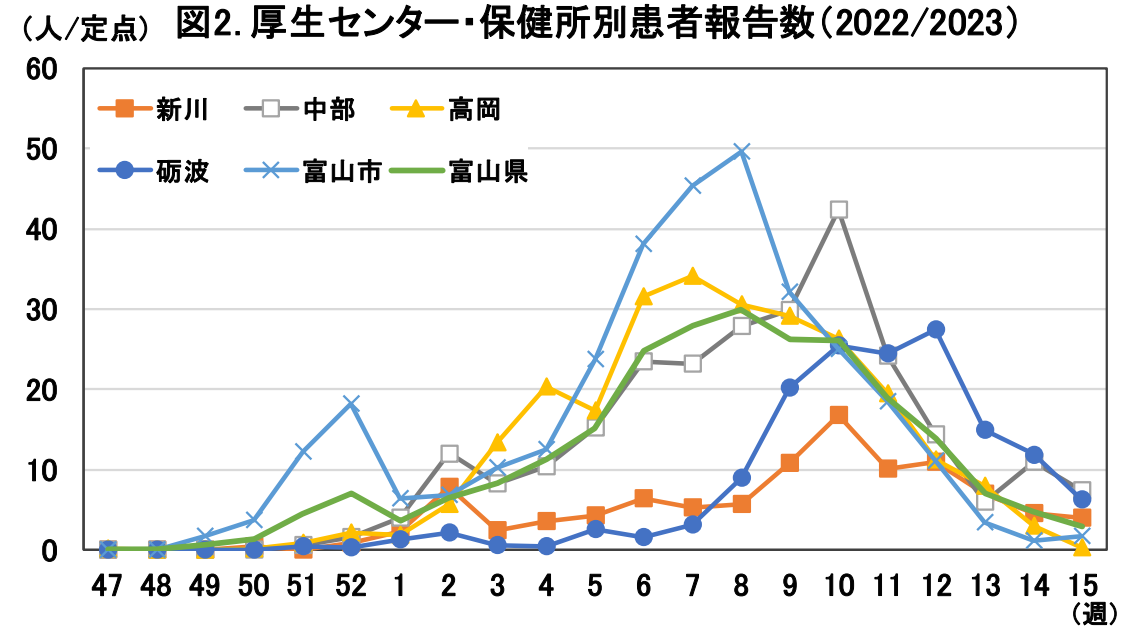
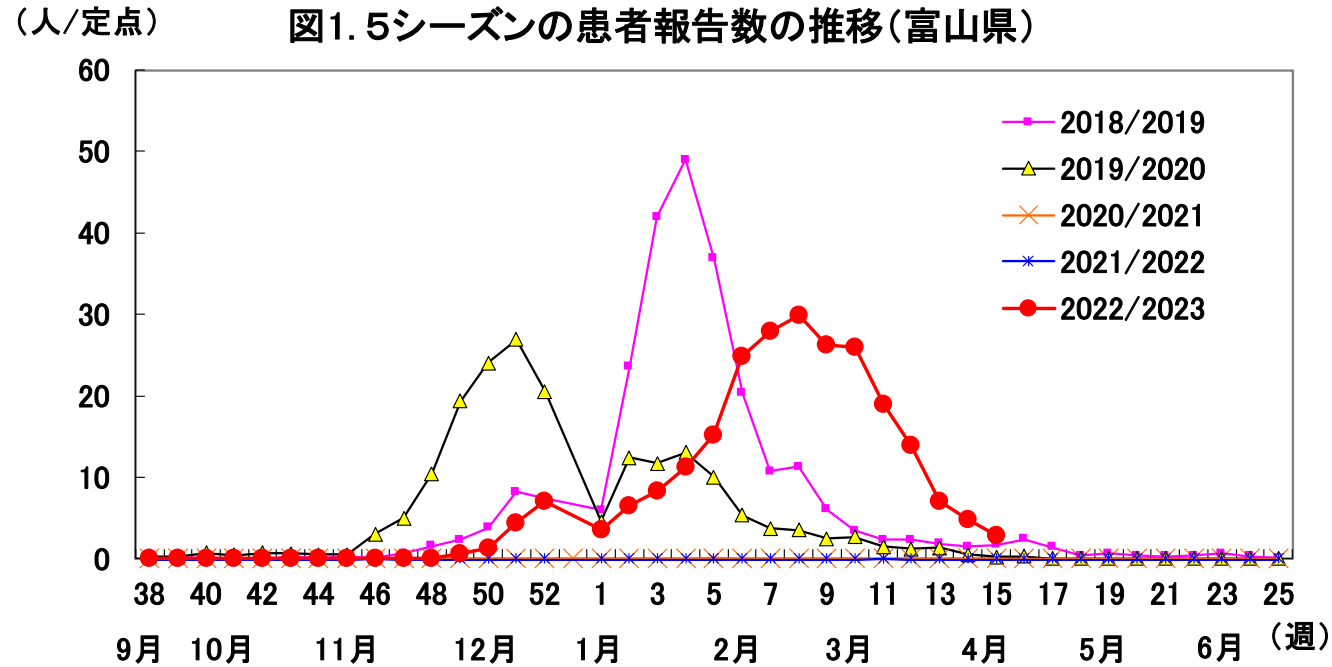


インフルエンザの発生状況(富山県)

【第15週(2023/4/10~16) 感染症発生動向調査速報値 (2023/4/19時点)】



- 今週の報告数は2.90人/定点であり、減少傾向が続いている(図1)。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、富山市保健所管内は先週からやや増加し(1.19人/定点→1.63人/定点)、その他の管内では報告数が減少した。現時点で、全ての管内で注意報レベルの10人/定点を下回った。

図3. 年代別割合(富山県、第15週)

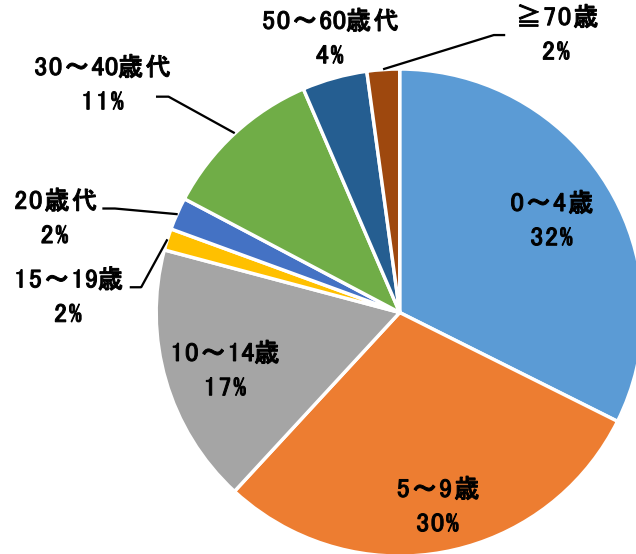
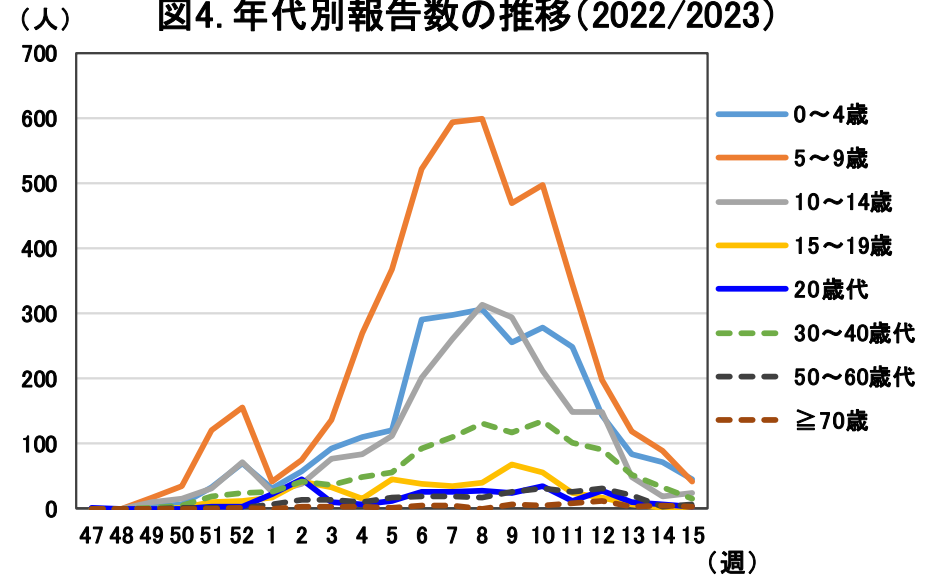


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第15週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が79%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、10~14歳（灰色）でやや増加（14週19人→15週24人）した。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は、第15週に中学校1件の報告があった。

富山県HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

富山県感染症情報センターHP : <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/influ2223/influ2223.htm#gakkyuheisa>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第14週)

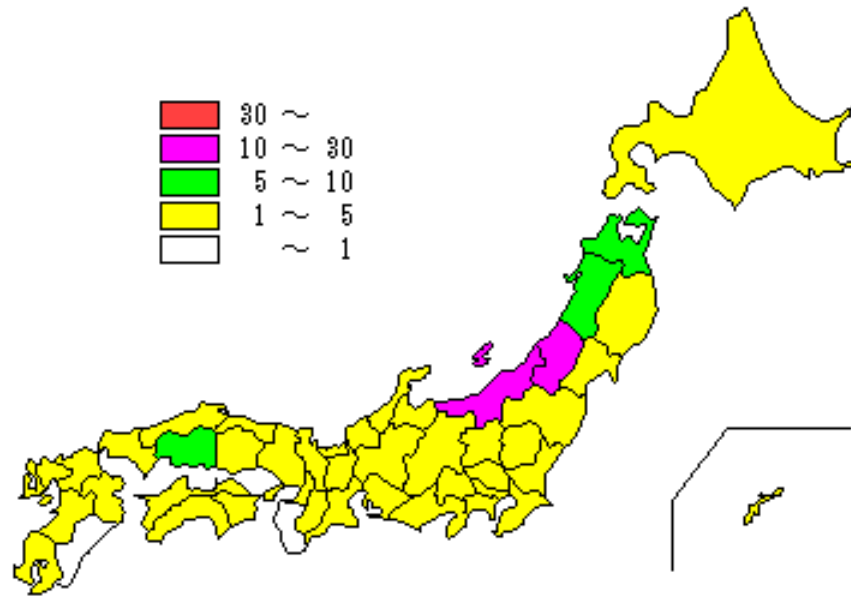
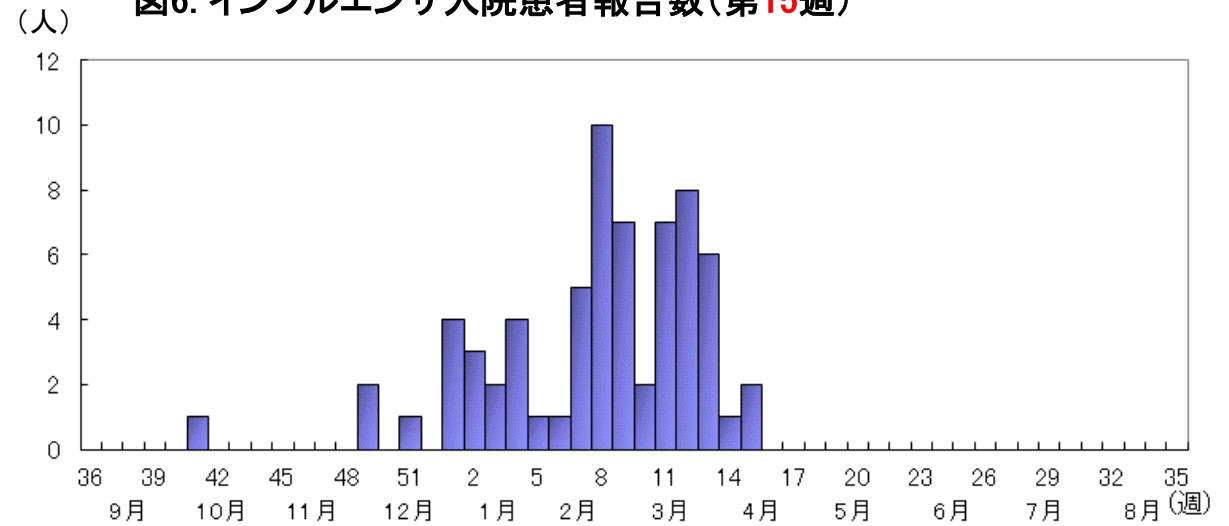


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第15週)



- 全国の定点あたり報告数は第14週に2.77人/定点となり、前週（4.06）より減少した。なお、都道府県別（図5）では2県で注意報レベルの10人/定点を超えている。警報レベルの30人/定点を超える都道府県はなかった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第15週に小児2例の報告があった。